



四国税理士会報

第443号
2023.1.10

●発行所 / 四国税理士会
高松市番町2-7-12
電話 087(823)2515(代)

●発行人 / 浜崎 友二
●編集人 / 秋山 千枝
●ホームページ / <https://www.shikoku-zei.or.jp>



First Sunrise

撮影者 協町支部 喜多 直樹

主な記事

新春号特集

・年頭のご挨拶

・高松国税局長と四国税理士会会長との新春対談

高松国税局との定例懇談会

部・委員会だより～情報化対策部～

広報部ニュース



あなたの暮らしのそばにいる

四国税理士会



ホームページのQRコードはこちら

||| 広報部ニュース |||

はじめての租税教室

平井 利和（高知）

去る令和4年9月29日、高知県立高岡高等学校にて初めての租税教室を行いました。

学生の前で話をするのは私にとって初めての経験であり、当日の朝は不安しかなかったことを覚えています。

いざ講義を始めてみると、生徒のみなさんは熱心に話を聞いてくれて、こちらの投げかけにも答えてくれたので、時間とともに私の不安も楽しさに変っていきました。また税務署さんが用意してくださった1,000万円のレプリカを見せるとさらにテンションが上がったようで、後のグループワークもみなさんで積極的に話し合いをしてくれたと思います。やはりお金の力はすごいなあと再認識いたしました。

今回、担当の先生のご厚意で生徒のみなさんの感想やアンケート結果をいただいたことにより、新しい発見もありこの租税教室は私にとって大変貴重な経験となりました。また生徒のみなさんにおいても「税金」が少しでも身近に感じてもらえれば幸いです。

よくある質問Q&A

日税連ホームページ税理士専用ページの
ユーザー名・パスワードについて

Q：質問内容

日税連ホームページにおいて、「会員専用」との記載がある項目に入室するには、どのようにすればよいですか？

A：回答

日税連では当該サイト内に「会員専用ページ」を設置し、下記の共通のユーザー名とパスワードで管理されています。当該会員専用ページに入室する場合や日税連のホームページのご利用の際、ユーザー名とパスワードを求められた場合、ご利用ください。

【ユーザー名及びパスワード】

ユーザー名	taxnz（半角小文字）
パスワード	taxnz（半角小文字）

今昔物語

宇高連絡船航路の今昔

かつて、香川県と岡山県を結ぶ「海の鉄道」としての宇高連絡船航路がありました。宇高連絡船航路は、明治43年（1910年）6月に開設され、昭和63年（1988年）4月までの78年間高松港と宇野港の間を日本国有鉄道（国鉄）・四国旅客鉄道株式会社（JR 四国）の連絡船が運航していました。私は昭和40年（1965年）頃以降の記憶しかありませんが、宇高連絡船と聞くと懐かしさが込み上げてきます。

昭和40年頃の船舶は、「伊予丸」、「土佐丸」、「阿波丸」と順次就航して、最後が「讃岐丸」でした。船舶には、各県のイメージカラーが塗装されていました。写真1の左側の連絡船は「土佐丸」で、船体の色には濃紺色が使用されていました。下り便で高松港の赤灯台を通過している写真です。右側の写真は「讃岐丸」で船体の色はエメラルドグリーンでした。また、「伊予丸」はオレンジ色、「阿波丸」は真紅色でした。ちなみに、伊予丸はみかん、土佐丸は黒潮、阿波丸は阿波踊りの情熱、讃岐丸はオリーブの色をモチーフにしたようです。

ご記憶のある方は多いと思いますが、上り便の航路は、右に女木島、直島を見ながら、また、下り便は玉野市、五色台の沿岸を右に見ながら、約1時間かけて運航していました。

写真1 土佐丸（左側）と讃岐丸（右側）



出所：写真集さようなら宇高連絡船 78年の航跡

やはり、連絡船で思い出深いのは、連絡船のデッキにあったうどん店（写真2左側）です。その人気ぶりはすごく、乗船するや否や、客席にかばんを放り投げるように置き、デッキに駆け上がる光景を何度も見かけました。

恐らく多くの方が、潮風に当たりながら食べたうどんの味を懐かしく思われていることでしょう。私も、下りの連絡船のうどんは、故郷四国へ帰ってきた安堵感が隠し味だったのでしょいか、ひときわ美味しかった記憶があります。

もう一つ、よく見られた光景として、連絡船が高松駅の棧橋に着岸すると乗客が我先にと連絡通路（写真2右側）を一斉に走り出しました。高松駅から接続している松山行きや高知行きの列車に座るためです。私は1時間程度で帰宅できますので、その経験はないのですが、これからの長距離列車の乗車は大変だと思っていました。高松市が四国の玄関口と言われた一風景ではないでしょうか。

そして、昭和63年に瀬戸大橋が開通すると、宇高連絡船航路は4月9日に廃止となり、翌日の4月10日に現在の瀬戸大橋線（写真3）に移行しました。それまでは、運航におよそ1時間を要していましたが、瀬戸大橋の開通により坂出（宇多津）駅から見島駅まで約15分と4分の1に短縮されました。

写真2 連絡船うどん店の風景（左側）、連絡船への高松駅連絡通路（右側）



出所：写真集さようなら宇高連絡船 78年の航跡

余談ですが、今は東京へ行くとき、飛行機を利用する人が多いと思いますが、私の若い頃は、飛行機は高嶺の花でした。ですから、昭和47年（1972年）3月の山陽新幹線の岡山駅開業前は、東京駅までの所要時間が約9時間30分を要していました。まず丸亀駅から乗車するのですが、単線で、かつ列車でしたので、連絡船に乗船するまで約1時間かかっていた。その後、連絡船の乗船時間が約1時間、宇野駅から新大阪駅まで急行鷺羽号で約3時間30分要したと覚えています。その後は、東海道新幹線に乗車して、新大阪駅から東京駅まで約4時間と大変な長旅だったと思います。

東京の大学に進学した友人は、「東京は遠い」とこぼしていました。昭和39年（1964年）に東海道新幹線が開業したのですが、その前はもっと大変だったのではないのでしょうか。

写真3 瀬戸大橋を渡る列車



出所：四鉄史、写真集さようなら宇高連絡船 78年の航跡

私が小学生の頃、「夢の超特急」、「夢の架け橋」というスローガンがありました。現在その夢が実現して、快適な鉄道の旅ができています。この夢の実現に尽力した先人たちに敬意を払うとともに、今安全運転に努めている関係者に感謝したいと思います。

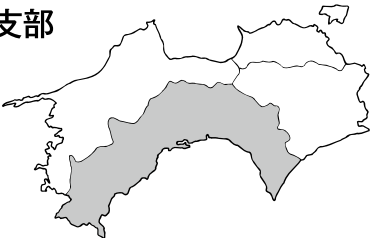
最後に、連絡船から約1時間ゆっくり眺めた島々、橋上から約15分間眼下に見える島々・・・隔世の思いがしますが、時代が変わっても、瀬戸内海の美しさは変わっていません。

参考文献

- 1 四国旅客鉄道編『写真集さようなら宇高連絡船78年の航跡』交通新聞社、1988年。
- 2 「四鉄史」編集委員会編『四鉄史』四国旅客鉄道、1989年。

県連だより

高知県支部
連合会



中小企業支援に関する金融懇話会を開催

岡本 友彦
(高知)

11月15日(火)に、ザ・クラウンパレス新阪急において、高知県下の多くの中小企業支援機関と四国税理士会高知県支部連合会との金融懇話会が開催されました。

四国財務局、高知県商工労働部、高知県信用保証協会、日本政策金融公庫、商工組合中央金庫、四国銀行、高知銀行、幡多信用金庫、高知弁護士会、高知県事業継承・引継ぎ支援センター、高知県中小企業活性化協議会から計16名、四国税理士会高知県支部連合会からは橋本孝志会長、金本副会長、西本常任理事、濱本中小企業対策部長、その他会員合わせて20名、総勢36名の方々にご参加いただきました。

現在、中小企業が抱えている大きな問題、事業承継が進まない、コロナ禍後の経営状況の悪化、ウクライナ情勢等に伴う物価上昇、ゼロゼロ融資の終了等の背景の下で、我々中



小企業を支援する立場の各機関が、具体的にどのようにして連携していくべきなのかをテーマとして、意見の交換が行われました。

橋本会長からの主催者あいさつでは、現状は税理士が単独で行ってしまっていることの多い事業承継問題について、ただの相談を受けるだけで終わってしまってはだめだ、税理士がどう動き、解決に導いていくのかが重要なことで、もっと他の支援機関と連携すべきである、という発言が印象的でした。

濱本中小企業対策部長からは、中小企業支援施策としての税理士会の取り組みや各機関との連携手法について、事例を交えながら紹介をさせていただき、各中小企業支援機関からも、それぞれの経営支援体制や取り組み、様々な制度の活用等の案内をいただき、個人的にも大いに勉強をさせていただきました。

その中でも特に、事業承継・引継ぎ支援センター原統括責任者からの、熱のこもったお言葉が印象的で、「経営者が事業承継に取り組む環境づくりと意識変革」「廃業ではなく、事業を繋げるという意識を醸成!」「まず、60歳以上の事業者の承継課題を顕著化させる掘り起こしが重要!」というワードは心に残るものでした。

その後、久しぶりの懇親会も行われ、各支援機関との連携維持・強化にとって大変意義深いものになったのではないかと思います。高知県連として今後もこのような取り組みを継続して行っていくべきだと感じました。





四国税理士共済会事業

税理士報酬専用商品 報酬口座振替システム

ご利用料金

項目	ご利用料金(別途消費税)
基本手数料(月額)	1契約(1振替日)につき 2,000円
委託手数料	請求1件につき 110円

※請求がない月には、ご利用料金は発生しません。

簡単で使いやすい

インターネットによるデータ入力で臨時報酬にも対応可能です。

報酬額に対する源泉税額・消費税額の自動計算機能を搭載

振替日は8日、22日のどちらかを選択

※振替日が金融機関休業日の場合は、翌営業日に口座振替を行います。

NSSより朗報です

- 報酬口座振替システムを「ご利用中or新規ご加入」の事務所を対象とした「関係法人用一般Eタイプ」のお取扱いを開始!
- 会員が役員である「会計法人・コンサルティング」などの法人がご利用いただけます。
- 当商品は上記報酬口座振替システムと同じ割安な料金設定!【基本手数料2,000円+請求1口座につき110円】

関与先さま向け

口座振替利用先紹介制度

- ご紹介先が口座振替をご利用いただいた場合は、会員さまに2万円の紹介手数料をお支払いいたします。
- ご利用開始3ヵ月目の請求口座数が100口座以上の場合、会員さまにさらに2万円の紹介手数料を追加支払いいたします。

ご利用料金

請求1回あたり	ご利用料金(別途消費税)
100口座未満の場合	7,500円+35円×請求口座数
100口座以上の場合	110円×請求口座数

ご利用例 (別途消費税)

請求口座数	ご利用料金	1口座あたり
30	8,550円	285円
50	9,250円	185円

※請求がない月には、ご利用料金は発生しません。

このような業種の皆さまによくご利用いただいています!



振替日は8日、22日、27日のいずれかを選択

※振替日が金融機関休業日の場合は、翌営業日に口座振替を行います。

資料のご請求はスマホでもOK!

※ご契約にあたって日本システム収納による所定の審査があります。



制度運営者
四国税理士共済会
〒760-0017 高松市番町2丁目7番12号
TEL(087)823-2515

お問合せ先
〔委託先会社〕
NSS 日本システム収納株式会社
大阪本店 〒564-8523 大阪府吹田市江坂町1-23-101 大同生命江坂ビル
TEL:06-6386-8526

新規お問合せ専用フリーダイヤル

0120-700-676
フリーダイヤル (平日9:00~12:00, 13:00~17:00)

日本システム収納

検索